

「わたしたちは、キャンドルナイトに、『障害のあるないにかかわらず、お互いを大切にする心を育てたい』というメッセージをこめました。相手を思いやる『こころ』と、自分を大切にする『こころ』が重なりあい、そして、育ててほしいと思っています。」

これは、「社会福祉法人じりつ」の理事長・岩上洋一氏のお言葉です。2024/12/14（土）、宮代町の冬の風物詩「キャンドルナイト in 進修館」は、「お互いを大切にする心を育む」ことをテーマとして開催されました。

#### 【西村翔太郎氏のサプライズ演奏♪】

キャンドルナイトの中盤には、同日2フロビーで開催された「進修館ロビーコンサート」で演奏を終えたばかりの西村翔太郎氏（ピアニスト：カンパニー・ヒュッケ）によるサプライズ演奏が行われました。曲目はベートヴェンの名曲「月光」。この日は月がとても綺麗で、キャンドルの灯火と月明り、そしてピアノの美しい音色によるコラボは最高でした。風が冷たくとても寒い中、たくさんの方が耳を傾けていました。



#### 【キャンドルナイトの準備はたいへん！】

当日朝は風速7mの風が吹き開催が危ぶまれていましたが、夕方以降は風が止むという予報だったので予定通りの開催となりました。とはいえ朝の段階ではとんでもない悪環境。そんな中、社会福祉法人じりつのみなさんが一所懸命にキャンドルやステージの設営を行っていました。設置するキャンドルの数は約3000個！舞台裏では、とんでもない苦労があるのです。じりつのみなさん、寒い中、本当にお疲れ様でした！



#### 【とても幻想的なひとときでした】

午前中の強風が空の雲を吹き飛ばしてくれたため、キャンドルナイトの空はとても澄んでいました。夜空には美しい月と輝く星、地上には温かな光を灯すキャンドル、そしてそれを守るかのように静かに佇む進修館。どれをとっても最高のひとときでした。来訪された皆さまは、お子さんのキャンドルを探したり、ステージを楽しんだり、様々な過ごし方をされていました。また来年、このひとときが訪れますように…

